

一般社団法人日本循環器看護学会
令和元年度 第2回理事会議事録

- 1 日 時 令和2年6月27日(土) 13時00分から15時00分まで
- 2 会議形式 ZoomによるWeb理事会 山田先生以外全員出席
- 3 出席者 吉田俊子(理事長)、宮脇郁子(副理事長)
阿部隼人、落合亮太、加賀谷聡子、角口亜希子、小泉雅子、瀬戸奈津子、竹原歩、
仲村直子、西田和美、旗持知恵子、三浦英恵、明神哲也、若林留美(以上理事)
以上理事16名中15名出席(定足数9名)
眞嶋朋子、眞茅みゆき(以上監事)
宇都宮明美、前田靖子(以上学術集会長)
事務局

4 会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果

以上のとおり定款第28条の定める定足数を満たす理事の出席があり、本理事会が成立したので、定刻、吉田理事長が開会を宣し、議事に入った。

第1号議案 令和元年度第1回理事会議事録(案)確認の件

吉田理事長より、令和元年度第1回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。

第2号議案 新規入会・退会者の承認の件

瀬戸総務委員長より、新規入会者・退会者の一覧が示され、議場にその承認が求められたところ、全員異議なく承認された。入会希望者が119名、退会希望者が63名であった。

今回の会費請求時に、除名対象者へ督促状を同封したほうが良いのではないかと意見があり、総務委員会で検討することとなった。

第3号議案 令和元年度事業計画(案)の件

吉田理事長より、令和元年度事業計画(案)が示され、各委員会委員長より令和元年度事業計画について説明がなされた。現時点で赤字予算であることから、予算とともに事業計画を見直すこととなった(修正予算及び事業計画を審議するため、7月にWEB理事会を開催することとなった)。

1) 学術委員会

三浦学術委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 日本の循環器看護領域の学術的発展の推進のあり方の検討を目的とした海外の循環器看護に関連する会との交流(The Global Cardiovascular Nurse Leadership Forum (GCNLF)など)
- (2) 循環器看護領域の学術的基盤の構築と発展に向けた検討
 - ① 循環器看護の定義の公表
 - ② 循環器看護の定義の検証(研究的取り組みを含む)

(3) 教育セミナーのあり方の検討および教育セミナーの開催

- ① 教育セミナーの内容の検討（セミナーの内容の体系化診療報酬との連動を意識した研修内容の検討など）
- ② 教育セミナーの実施方法の検討（e-learning や WEB セミナー含む）
- ③ ①②を踏まえた教育セミナーの開催の計画と実施

2) 学会誌編集委員会

旗持学会誌編集委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 日本循環器看護学会誌年 2 回（第 16 巻第 1 号, 第 16 巻第 2 号）の発行、第 17 巻第 1 号の発刊準備
- (2) 電子投稿システム・査読システムの運用の評価と改善（継続）
- (3) 専任査読委員増員検討（継続）
- (4) 投稿原稿の活性化へ向けての対策の検討（継続）
 - ① 第 17 回学術集会での委員会セミナー（投稿論文作成や査読の受け方等）・相談会の開催
 - ② 投稿規定（投稿者の条件等）の検討の継続
 - ③ 学会誌オンライン化へ向けた情報収集

3) 政策・診療報酬委員会

瀬戸総務委員長（山田政策・診療報酬委員長代理）より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 2022 年度診療報酬改定にむけて循環器看護分野からの医療技術、診療体制等についての提案準備
- (2) 医療保険に関する外部機関への会議等の出席、および渉外（看護系学会社会保険連合等）
- (3) 心不全患者の再入院予防にむけた取り組みの実際や成果について情報収集
 - ① 第 17 回日本循環器看護学会学術集会の交流集会
 - ② 調査票を用いた実態調査

4) 広報委員会

落合広報委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 学会ホームページ 会員専用コンテンツの充実
- (2) 会員の研究・臨床実践活動に関する広報活動推進
- (3) ニュースレターの発行

5) 倫理委員会

加賀谷倫理委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 申請のあった研究に対して、規定に基づき倫理審査を行う
- (2) 個人情報保護に関する問題が生じた場合に対応を行う
- (3) 本学会の研究に関する「利益相反指針」を運用する
- (4) 学術集会活動における「利益相反指針」の細則を作成し、運用する
- (5) 一般社団法人日本循環器看護学会倫理綱領に関する問題が生じた場合に対応を行う

6) 国内交流委員会

仲村国内交流委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 本法人の国内の循環器看護関連法人・学会・研究会などを中心とした諸団体との交流をはかる。
 - ① 関連法人、学会、研究会とのジョイントシンポジウムの企画、およびジョイントシンポジウム開催の承認、座長の推薦等を行う。

② 新たな関連法人、学会、研究会とのジョイントシンポジウムの開催後の座長、演者の意見をもとに今後の交流について検討する。問題が生じた場合は、直ちに委員会で検討し、解決を図る。

(2) 関係諸団体との本法人の窓口となる。

7) 選挙管理委員会

角口選挙管理委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

(1) 法人第4期における選挙にむけた計画

- ① 令和3年度開催（選挙は2022年開催） 理事・監事選挙にむけたスケジュール計画
- ② WEB選挙導入後評価と次回選挙への準備

(2) 次期選挙について理事会の承認を得る

8) 総務委員会

瀬戸総務委員長より以下の活動計画について説明がなされた。

- (1) 各委員会の活動支援、調整
- (2) 理事会、社員総会、会員総会の運営補助
- (3) 会員獲得に関する事業
- (4) 定款、規定の評価・見直し
- (5) 若手研究者の研究助成事業

第4号議案 令和2年度予算（案）の件

吉田理事長より、令和2年度予算（案）が示され、各委員会委員長より説明がなされた。現時点で赤字予算であることから、事業計画とともに予算額を見直すこととなった。

1) 学術委員会

・令和2年度も教育セミナーを年間3回行う予定であり、うち2回をWebセミナー形式で実施したいと考えている。

2) 学会誌編集委員会

・委員会旅費がかさんでいるため、可能な限り対面会議の回数を減らしてWeb会議で対応していきたいと考えている。
・J-STAGEへの学会誌掲載を検討すべきとの指摘があった。

3) 政策・診療報酬委員会

山田政策・診療報酬委員長が欠席のため、代理で瀬戸総務委員長より説明がなされた。

・研究調査費がかさんでいるが、学会支援機構へ委託した場合5万円でWebアンケートの実施が可能であるため、そちらを検討したほうが良いとの指摘があった。

4) 広報委員会

・年1回対面委員会を予定しているが、Web会議に変更することも可能であるため検討したい。

5) 倫理委員会

・通常審査の有無により旅費や謝金が変わってくる（令和元年度は会員審査のみであった）。通常審査申請があった場合を想定し、予算を計上している。

6) 国内交流委員会

・臓器移植関連学会協議会参加のために、交通費と資料郵送費を計上している。

- ・委員会等は Web 会議やメールで行う予定である。

7) 選挙管理委員会

- ・選挙のスケジュール調整等は Web 会議で進めていく予定である。

8) 総務委員会

- ・今後の理事会の持ち方によって予算が変わってくるが、審議事項 8 での審議結果を受けて、予算を調整していきたい。
- ・必要経費が多いため中々削減が難しいが、前年度の実績に基づき、交際費を半減させた。

第 5 号議案 第 16 回学術集会基金の用途について

瀬戸総務委員長より、第 16 回学術集会基金の用途として、若手の臨床看護師を対象とした研究助成事業を行うことが提案され、異議なく承認された。

また、会員に Web アンケートを実施し、要望等を把握した上で、それをもとに基金用途を検討することが確認された。

第 6 号議案 高血圧・循環器病予防療養指導士認定委員会からの依頼について

瀬戸総務委員長より、高血圧・循環器病予防療養指導士認定委員会からの依頼に関して説明がなされた。

同委員会では、高血圧・循環器病予防療養指導士認定士制度を定め、脳卒中や循環器病予防のために療養指導を行う職種の方々の資質向上を目指している。

認定士資格の更新に際して、主催学会以外の学術集会に参加した場合でも、関連学術集会参加として単位を認めることを検討しており、本会学術集会を関連学術集会に加えたいとの依頼であったが、本会学術集会への参加者増加を期待できるというメリットもあり、異議なく承認された。

第 7 号議案 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う第 17 回学術集会の開催方法の変更について

宇都宮第 17 回学術集会長より、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、学術集会の開催方法を変更する旨の説明がなされた。

リアル開催及び Web 開催のハイブリッド方式とし、リアル開催の学術プログラムは全てライブ配信+オンデマンド配信（会期中～会期後数日間）とすることが提案されたところ、参加者の利便性も考慮し、オンデマンド配信期間を延長したほうが良いとの指摘がなされ、2 週間程度確保することが確認された。

また、理事会・社員総会・会員総会の開催方法は理事会に一任された（決定の上、後日宇都宮先生に報告する）。

第 8 号議案 今後の理事会の持ち方について

瀬戸総務委員長より、理事会の実施方法や回数について今後検討していく必要があるとの提案がなされた。審議案件数に対して対面理事会の回数が少ないとの指摘がなされ、予算を調整した上で 7 月の Web 理事会で今後の理事会の持ち方を決定することが確認された。

（報告事項）

1. 月毎年会費納入件数について

瀬戸総務委員長より、月毎年会費納入件数について報告がなされた。2020年4月30日現在で会員1,237名中、入金者が1,071名、会費納入率が86.6%である。

2. 論文表彰委員の選出について

旗持学会誌編集委員長より、論文表彰委員として三浦英恵先生・加賀谷聡子先生・山田佐登美先生・落合亮太先生・旗持知恵子先生が選出された旨の報告がなされた。

9月上旬までに優秀論文賞及び奨励論文賞を決定の上、学術集会時に表彰を予定している。

3. 2020年度日本看護系学会協議会 総会報告

吉田理事長より、2020年度日本看護系学会協議会の総会資料が示され、2019年度の決算報告及び監査報告、選挙管理委員の選出、内閣総理大臣への緊急提言（新型コロナウイルス関連）に関して説明がなされた。

4. 特定行為パッケージ研修に関する要望書について

吉田理事長より、日本循環器学会（ダイバーシティ委員会）から特定行為パッケージ研修検討への参加打診があった旨報告された。

コロナの影響等により今年度5月の申請は見送られたが、後日、日本循環器学会より正式に依頼が届くことになっているため、今後の理事会で改めて審議することが確認された。

5. 第16回学術集会実施報告

眞茅第16回学術集会长より、資料をもとに標記事項について説明がなされた。

詳細は以下の通り。

1) 大会長

眞茅みゆき（北里大学看護学部看護システム学）

2) 学術集会テーマ

「Art, Science & Technology 未来の循環器看護を創造する」

3) 会期

2019年11月2日（土）～11月3日（日）

一般演題募集期間 2019年3月1日～5月15日

延長期間 2019年5月16日～5月29日 5月30日～6月3日

4) 開催場所

会場：北里大学白金キャンパス/プラチナタワー

〒108-8641 東京都港区白金5-9-1 Tel：03-3444-6161（代）

5) 参加者数

会員563名 非会員926名 学生10名 合計1,499名

6) 参加費用

(事前) 会員：3,618,000 円 非会員：4,480,000 円

(当日) 会員：1,610,000 円 非会員：5,258,000 円

学生：30,000 円

合計 14,996,000 円

7) 特別講演等企画内容

<特別講演>

特別講演1「循環器領域における先駆的治療」

11月2日(土) 9:40~10:30 北里大学医学部 阿古 潤哉 先生

特別講演2(同時通訳)「Updated Practice Standards for ECG Monitoring: Impact at the Bedside」

11月2日(土) 10:40~11:40 Bethel University Kristin E. Sandau

特別講演3「Self-care of heart failure: What do we Know? What do we Need to Know?」

11月2日(土) 14:45~15:45 University of Pennsylvania Barbara Riegel

特別講演4「行動経済学の観点からみた意思決定支援」

11月3日(日) 9:20~10:10 大阪大学大学院人間科学研究科 平井 啓 先生

<特別企画>

特別企画「健康寿命の延伸を目指すために循環器看護に求められる役割」

脳卒中・循環器病対策基本法の成立を受けて」

11月3日(日) 10:30~12:00

厚生労働省 健康局がん・疾病対策課 石上 晃子 先生

東京大学大学院医学系研究科/一般社団法人日本循環器学会 代表理事 小室 一成 先生

京都大学大学院医学研究科/一般社団法人日本脳卒中学会 理事長 宮本 享 先生

聖路加国際大学看護学部/一般社団法人日本循環器看護学会 理事長 吉田 俊子 先生

徳島大学大学院医歯薬学研究部/日本脳神経看護研究学会 副理事長 田村 綾子 先生

<教育講演>

教育講演1「循環器疾患患者の減塩指導：どう実践するか」

11月2日(土) 10:40~11:40 製鉄記念八幡病院 土橋 卓也 先生

教育講演2「事例研究がもたらす看護実践の知：『ケアの意味をみつめる事例研究』方法開発の

とりくみから」

11月2日(土) 13:15~14:15 東京大学大学院医学系研究科 山本 則子 先生

教育講演3「認知症のある患者とのコミュニケーションスキル」

11月2日(土) 16:50~17:50 北里大学病院 蛭名 由加里 先生

8) 一般演題

一般演題 口演54題 ポスター50題 交流セッション6題 および 最優秀演題4題

合計114題

9) 優秀演題 34題のエントリーがあり、最優秀演題候補4題を選出

最優秀演題審査会日時 11月2日(土) 12:20~

審査委員長 三浦 英恵 先生

6. 第 17 回学術集会準備状況報告

宇都宮第 17 回学術集会会長より、資料をもとに学術集会の概要や企画内容について説明がなされた。

5 月 22 日 12 時時点で、登録数は 49 演題（交流セッション 2 演題、公募パネルディスカッション「脳血管疾患患者を病院から地域へと支えるシームレスな看護」0 演題、「循環器疾患患者のエンド・オブ・ライフ・ケア—その人らしく生きることへ寄り添う—」1 演題、「フレイルの進行を予防する多職種チームの関わり」0 演題、循環器病研究振興財団研究発表会 5 演題、委員会企画 0 演題含む）となっている。

- ・開催日程：2020 年 10 月 10 日（土）～11 日（日）
- ・会場：京都テルサ
- ・運営会社：株式会社クレッシェー

7. 第 18 回学術集会準備状況報告

前田第 18 回学術集会会長より、資料をもとに学術集会の概要について説明がなされた。

- ・開催日程：2021 年 10 月 9 日（土）～10 日（日）
- ・テーマ：循環器看護のシンカを問う—進化・真価・深化—
- ・会場：名古屋国際会議場 2 号館/白鳥ホール/国際会議室（予定）
- ・運営会社：株式会社 テクロス

以上